

福津市食育推進計画指標（経年変化）
国、市の指標比較

(赤文字下線)国と市の文言が違う箇所
(赤文字)市の指標にない箇所
(青文字)市第2次指標項目から第3次指標の項目の変更(案)

資料2

R8.7.17

(国)第5次食育推進基本計画 指標(案)	国 R7現状値	国 R12目標値	No.	取り組み効果をはかる項目（福津市）		基準値	調査結果	調査結果	調査結果	第2次 目標値	(市)第3次(案)	第3次 目標値(案)	備考
						H19年度	H27年度	R2年度	R7年度	R7年度		2036年度	
農林漁業体験を経験した国民(世帯/ 本人)の割合	世帯 57.1% 本人 45.5%	世帯 60%以上 本人 50%以上	1	生産者と交流体験をしたことのある 市民および小学生の割合	市民			19.6%	28.5%	50%	生産者と交流体験をしたことのある市 民および小学生の割合	市民30%以上	
					小学生		66.9%	38.5%	42.1%	80%		小学生50%以上	
			2	毎日の食事に、旬のものや地元産 の食材をよく使う市民の割合	市民	41.3%	58.2%	45.3%	46.9%	70%	毎日の食事に、旬のものや地元産の 食材をよく使う市民の割合	60%以上	アンケートの時は県産品と注意書き入れる
学校給食における地場産産/国産食 材を使用する割合(金額ベース)を現 状地(令和7年度)から維持・向上した 都道府県の割合	—	90%以上 90%以上	3	学校給食における地元産（市内お よび宗像農協管内）の食材の利用 率(重量ベース)※	市民		48.3%	—	—	40%	学校給食における地元産(市内および 宗像農協管内)の県産農林水産物の 利用率食材の品目数	40%以上	学校給食で県に報告している食材の品目数を指標として みる
1日当たりの野菜摂取量の平均値	258.7g 令和6年度	350g以上	4	野菜を毎食食べることを心がけて いる若い世代の割合	18～39歳			41.5%	28.3%	60%	野菜を1日3皿以上食べている市民の 割合	40%以上	若い世代から市民変更 R7市民の割合35% R2のアンケートとR7のアンケートで変更あり。R7に合わせ 皿数で質問する。3皿以上の割合で評価する
	若い世代 23.8%	若い世代 30%以上	5	主食・主菜・副菜を組み合わせた 食事をするよう心がけている若い 世代の割合	18～39歳			41.0%	21.7%	60%			若い世代は指標から外し、年代ごとで見るため、指標10と 一緒にする。
			6	自分だけで料理をすることができる 子どもの割合	小学生	70.5%	71.5%	67.3%	85.5%	75%	自分だけで料理をすることができる子 どもの割合	90%以上	
					中学生	67.6%	67.3%	69.6%	87.0%	75%		90%以上	
朝食を欠食する子供の割合	6.4%	5%以下	7	朝食を毎日食べる子どもの割合	小学生	89.4%	87.6%	85.1%	93.2%	100%	朝食を毎日食べる子どもの割合	100%に近づけ る	
					中学生	80.7%	85.1%	82.2%	86.8%	100%		100%に近づけ る	
朝食を欠食する若い世代の割合	28.20%	25%以下	8	朝食を毎日食べる若い世代の割合	男性18-29 歳	48.1%	63.3%	50.0%	71.4%	男性75%以上 女性85%以上	朝食を毎日食べる市民の割合	男性75%以上 女性85%以上	若い世代から市民へ変更 R7市民の割合78.9 % 男性69.1% 女性83.5%
					男性30-39 歳	57.3%	54.2%	68.6%	50.0%				
					男性18-39 歳			63.8%	56.0%				
					女性18-29 歳	67.6%	64.4%	61.0%	63.6%				
					女性30-39 歳	86.8%	81.7%	82.0%	87.7%				
					女性18-39 歳			75.9%	81.0%				
1日当たりの食塩摂取量の平均値	9.6g 令和6年度	7g	9	減塩を心がけている市民の割合	市民			49.3%	48.4%	75%以上	適塩を心がけている実践している市民 の割合	50%以上	減塩から適塩へ表現を変更。アンケート内容で、H27は「心 がけている」であったが、R2からは「実践している」へ変更 したため、指標をアンケートに合わせ、「実践している市民 の割合」とする。
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事 を1日2回以上ほぼ毎日食べている国 民/若い世代の割合	国民 36.1% 若い世代 23.8%	国民 45%以上 若い世代 30%以上	10	主食・主菜・副菜を組み合わせた 食事をするよう心がけている市民 の割合	市民		79.0%	47.4%	36.5%	85%以上	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事 をするよう心がけている市民の割合	40%以上	

(国)第5次食育推進基本計画 指標(案)	国 R7現状値	国 R12目標値	No.	取り組み効果をはかる項目（福津市）		基準値	調査結果	調査結果	調査結果	第2次 目標値	(市)第3次(案)	第3次 目標値（案）	備考
						H19年度	H27年度	R2年度	R7年度	R7年度		2036年度	
生活習慣病予防や改善のために、ふだんから <u>適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する</u> 国民の割合	63.20%	70%以上	11	<u>適正体重を維持している</u> 市民の割合※	男性		※74%	57.5%	51.5%	80%	適正体重を維持している市民の割合 <u>適正体重の維持に気をつけた食生活を実践している市民の割合</u>	55%以上	H27は、福津市特定健診受診者に対する割合で出していた。 R2からアンケートでは、「生活習慣病予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持に気をつけてた食生活を実践しているか」を問い「いつも気をつけて実践している」と「気をつけて実践している」と回答した市民の割合で出している。
					女性		※72.5%	63.1%	60.4%	80%		65%以上	
ゆっくりよく噛んで食べる <u>国民</u> の割合	46.20%	55%以上	12	よく噛んで食べることができる <u>高齢者および子ども</u> の割合	高齢者		74.0%	49.6%	45.5%	現状維持	よく噛んで食べることができる高齢者 および子ども <u>市民</u> の割合	55%以上	高齢者とこどもから市民へ変更。 R7の市民の割合は50.2%
					小学生		57.9%	68.8%	78.3%	63%			
					中学生		52.5%	65.8%	63.7%	58%			
			13	「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを必ず言う市民および子どもの割合	市民	54.8%	52.6%	48.1%	55.5%	70%	「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを必ず言う市民および子どもの割合	80%以上	「必ず」を削除し、「よく言う」も含める。 R7「よく言う」も含めた割合 市民 78.1% 小学生 89.0% 中学生 91.5%
					小学生	63.2%	66.9%	60.3%	67.5%	100%		100%に近づける	
					中学生	44.8%	58.7%	61.4%	67.6%	100%		100%に近づける	
朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週8.6回	週10回以上	14	朝食または夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	市民		9.4回	11.1回	10.1回	週に10回以上	朝食または夕食を家族一緒に食べる「共食」の回数	週に10回以上	
<u>地域等で共食したいと思う人が共食する割合</u>	70.10%	75%以上	★24								<u>地域等で共食したいと思う人が共食する割合</u>	75%以上	1人暮らしの人もいるため、国に合わせ地域での共食を追加。共食の例示をする。
郷土料理や伝統料理やを <u>月1回以上食べている国民の割合</u>	54.70%	60%以上	15	<u>行事食を年5回以上行っている家庭の割合</u>	市民	50.3%	52.8%	35.4%	—	80%	<u>郷土料理や伝統料理やを月1回以上食べている市民の割合</u>	60%以上	年5回以上は難しいため、国に合わせる
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	48.8%	55%以上	16	伝統料理や郷土料理を知っている市民および子どもの割合	市民			72.1%	82.8%	90%以上	伝統料理や郷土料理を知っている市民および子どもの割合	85%以上	
					小学生			50.6%	64.6%	81.5%		85%以上	
					中学生			44.7%	75.6%	82.8%		85%以上	
			17	食に関する作法や望ましい食生活に関心のある人の割合	市民			73.9%	74.5%	60%以上			国の指標にないため指標からは削除。アンケートでのみ把握。
<u>・食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合</u>	68.6%	75%以上	18	<u>食品表示を必ず確認する人の割合</u>	市民		65.5%	36.7%	27.6%	80%	食品表示を必ず確認する人の割合	80%以上	「必ず」を削除し、「いつも」及び「時々」も含める。R7の割合77.2%
食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合	77.2%	80%以上	19	食べ物を無駄にしないように取り組んでいる市民の割合	市民			99.2%	98.8%	80%以上	食べ物を無駄にしないように取り組んでいる市民の割合	100%に近づける	
			20	食育のイベントや活動に参加した市民の割合	市民		9.5%	10.8%	13.1%	20%	食育のイベントや活動に参加した市民の割合	15%以上	「食育のイベント」がわからい方もいるため、アンケートの際に、「食育のイベント」の例示をする。
			21	食育イベントや活動が開催されることを知らずに参加できなかった市民の割合	市民		40.9%	48.9%	47.5%	30%（以下）			国の指標にないため指標からは削除。アンケートでのみ把握。イベントの周知はSNS等を利用し幅広く発信する。
			22	食育活動を楽しんで実践している市民の割合	市民	65.7%	65.0%	67.7%	63.5%	75%			国の指標にないため指標からは削除。
食育に関心を持っている国民の割合	79.10%	90%以上	23	食育に関心のある市民の割合	市民	84.6%	79.7%	80.6%	88.1%	90%	食育に関心のある市民の割合	90%以上	
<u>環境に配慮した農水産物・食品を選ぶ国民の割合</u>	57.1%	60%以上											
<u>産地や生産者を意識して農水産物・食品を選ぶ国民の割合</u>	66%	70%以上											
<u>1日当たりの果物摂取量の100g未満の者の割合</u>	78.1g 令和6年度	200g											
<u>栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数</u>	月 14.1回	月15回以上											
<u>食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数</u>	30.3万人 令和6年度	31万人以上											
<u>推進計画を作成・実践している市町村の割合</u>	92.80%	100%											

※No9の現状値は健康ふくつ21のアンケート結果より抜粋

※No11の現状値は福津市特定健診受診者に対する割合